

アメリカで得たこと

吉田中学校

齋藤 大誠

私は、この「中学生姉妹都市派遣事業」を通して、日本とアメリカの文化の違いを学ぶことができたり、英語力を向上させたりすることができました。

1日目では、他校の生徒とも仲良くすることができ、バスや飛行機の中でも楽しく過ごすことができました。アメリカに着くと、大型バスに乗りコロラド・スプリングスを目指しました。コロラド・スプリングスに着くとバスの窓からたくさんの家々が見えました。私はまずここで日本とアメリカの文化を感じることができました。アメリカは日本と比べて、家や庭がとても大きく、驚きました。そしてホストファミリーに会って自己紹介をしました。この時も、初対面にもかかわらずとてもフレンドリーに私たちに接して下さいました。私もこれからアメリカ人のようにどんな人にもフレンドリーに接することができる明るい、また優しい人になりたいです。

その後、2日目から5日目までの4日間ホストファミリーの家に泊まりました。2日目にはホストファミリーの家族の趣味であるハイキングへ共に行きました。そこでは、自然やコロラド・スプリングスの街を見ながら自然のことや、コロラド・スプリングスの歴史について教えてもらいました。そこで私はまた、アメリカについての知識を増やすことができたので良かったです。その日の夜には家の中にある3台のピンボールマシンで遊びました。日本ではとても体験できるようなことではなかったので、このような体験ができてとても良かったです。

3日目は、デンバーの世界ナンバー1のアメフトチーム「デンバー・ブロンコス」の練習を見に行きました。そこにはたくさんのファンの方々がいて、選手が良いプレーをすると大きな拍手をしたり、口笛を鳴らしたりしてとても迫力がありました。夜には寿司屋へ行き、アメリカでも日本食を食べることができました。アメリカ人の方々がたくさん寿司を食べていたので日本人としてとても嬉しかったです。

4日目はジープに乗ってドライブをしました。アメリカでは普通の道路に何台もジープが走っていて、またホストファミリーにもアメリカでは普通だと聞いたので驚きました。その後、別荘にてキャンプをしました。お母さんの料理はとてもおいしかったです。

そしてホストファミリーデー最終日の5日目は、派遣団が集まり、ホストファミリーに合唱とソーラン節を披露しました。練習の成果が発揮できたので、とても良かったです。キャンプも終わり、私たちは公園で野球をしました。最終日で寂しかったけどみんなで楽しむことができました。

6日目から派遣団もみんなで合流し、コロラドの観光地や自然を見学しました。ホストファミリーの家族と別れるのは寂しかったけど、またコロラドに戻り、会いたいと思いました。見学場所では、観光の歴史や特徴についてバスガイドさんの話などで学ぶことができました。

た。特に私が印象に残った場所は、「ガーデン・オブ・ザ・ゴッズ」です。男子8人でゴンドラに乗り、高さ 300 メートル超えの橋を渡って、みんなで写真を撮ったことが一番の思い出です。

6月に行われた第1回目の派遣団顔合わせでは少し不安だったけど、このコロラド派遣を通して他校の生徒とも仲良くなれ、最後のホテルのプールでもみんなで遊べて本当に楽しかったです。

私はこの事業を通して、アメリカの文化だけでなく、アメリカ人の心優しさにも触れることができました。アメリカで素晴らしい文化を学ぶことができたので、日本では日本のアメリカとは違った素晴らしい文化の中でアメリカ人のような思いやりのある人間として生きていきたいです。

今までありがとうございました。